

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッケージケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

完成図

<組立てに必要な人数>

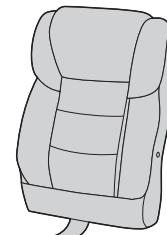
大人2人以上

<用意していただくもの>

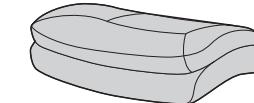
・手袋（ケガ等を防ぐために着用をおすすめします）

組立部品

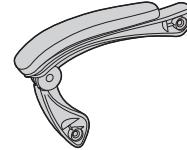
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNCL21など)と下記の部品番号(①～⑭)と部品名(ボルトAなど)をお知らせください。



①背もたれ×1個



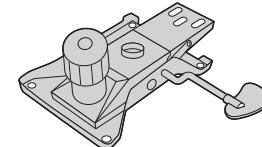
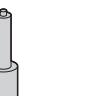
②座面×1個



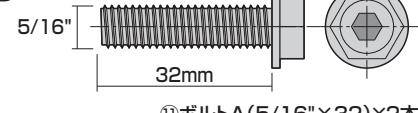
③肘あて(右)×1個



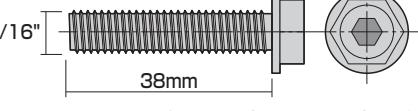
④肘あて(左)×1個

⑤レッグフレーム
×1個⑥座面ブラケット
×1個⑧キャスター
×5個⑨キャップ
×4個⑦ガスシリンダー
×1本

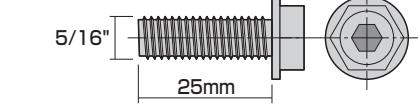
⑩六角レンチ(5mm)×1本

使用ボルト

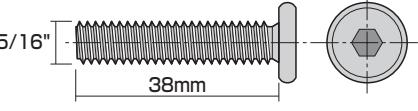
⑪ボルトA(5/16"×32)×2本



⑫ボルトB(5/16"×38)×2本



⑬ボルトC(5/16"×25)×3本



⑭ボルトD(5/16"×38)×4本

チェアの品質表示

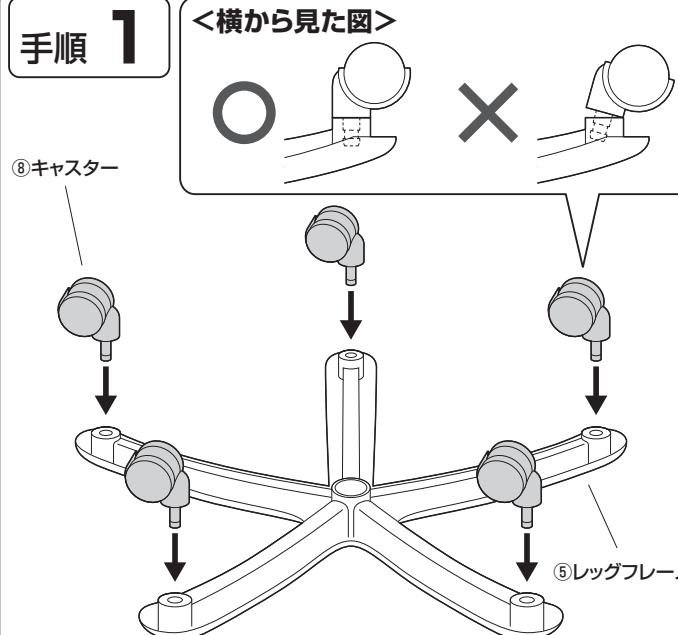
構成部材：座部・背もたれ部/合板、脚部/スチール 肘あて部/PP+PU
キャスター部/ナイロン

張り材：PUレザー

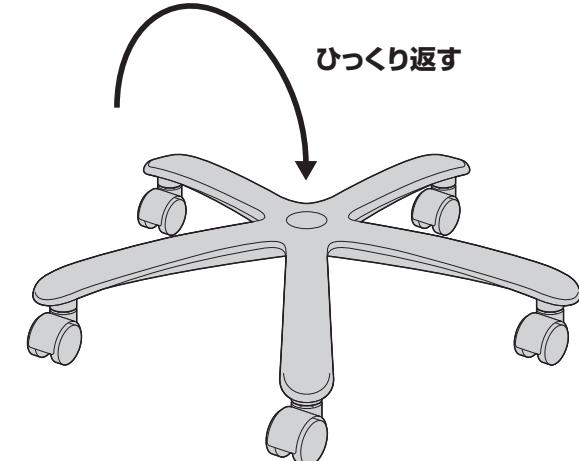
クッション材：ウレタンフォーム

<使用上の注意>

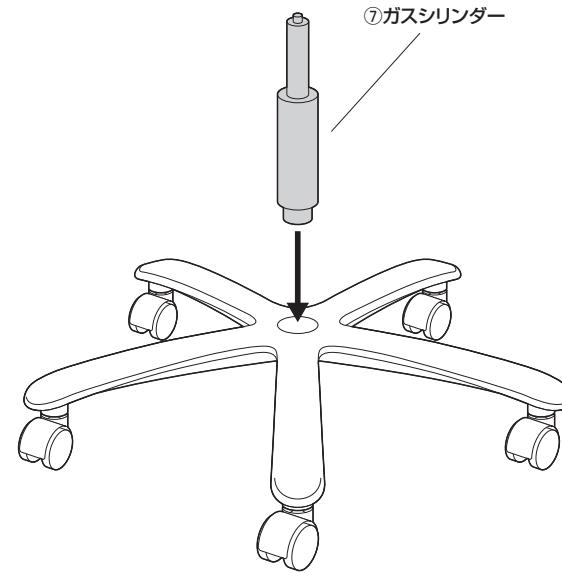
- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないよう注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

手順 1**<横から見た図>****手順 2**

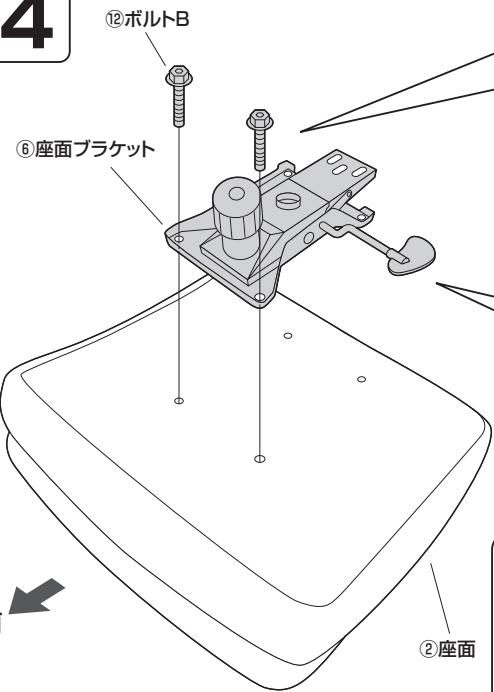
ひっくり返す



手順 3



手順 4

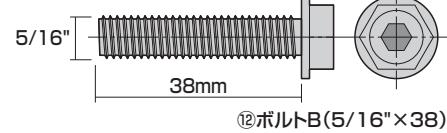


<上から見た図>

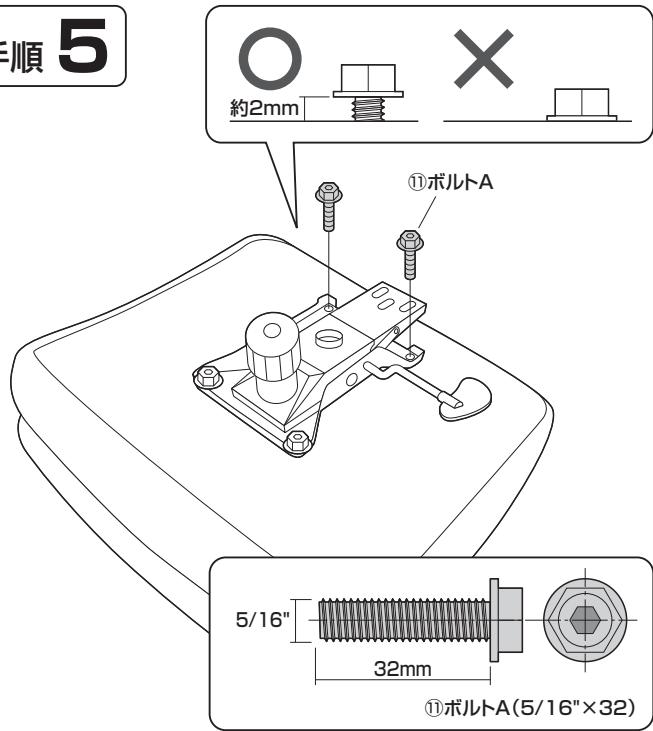
⑥ 座面ブラケット

前 ←

※ツマミのある方が前です。



手順 5

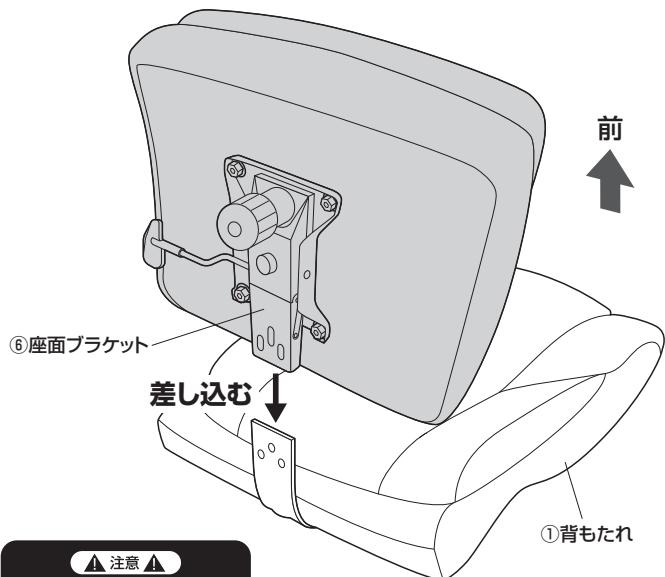


手順 6



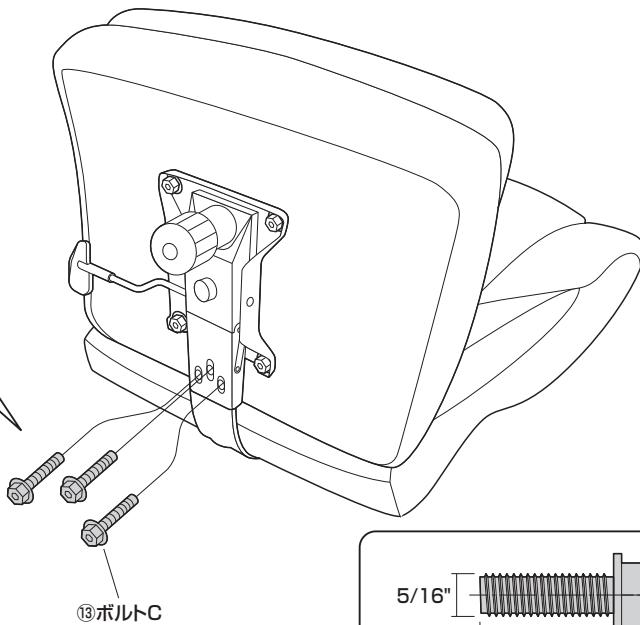
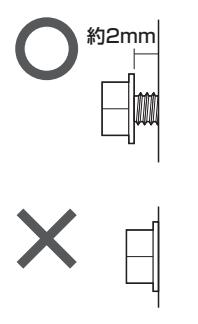
▲ 注意 ▲
ボルトはしっかりと最後まで締め込んでください。

手順 7



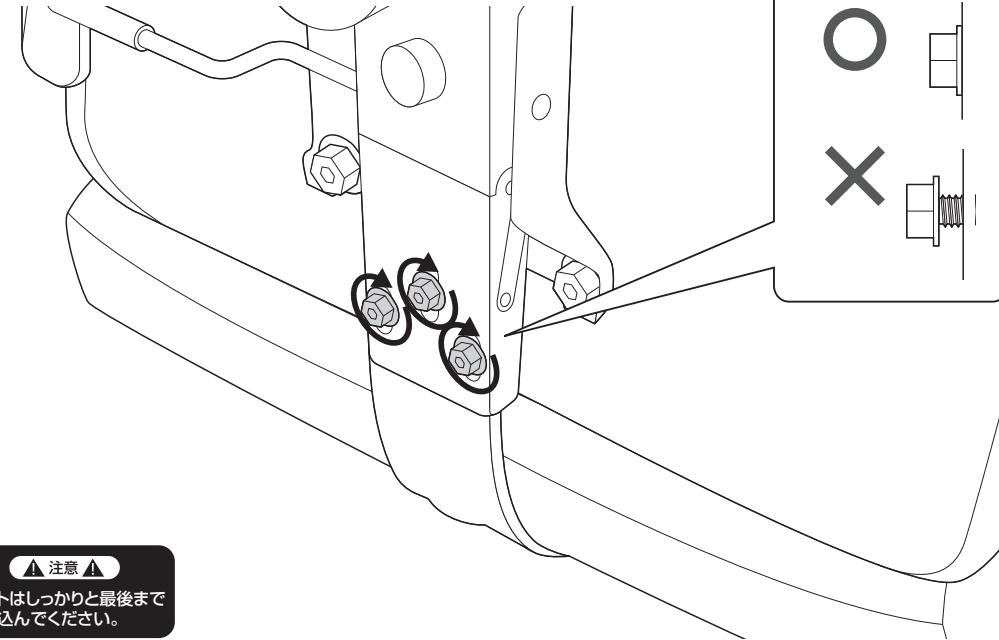
▲ 注意 ▲
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

手順 8



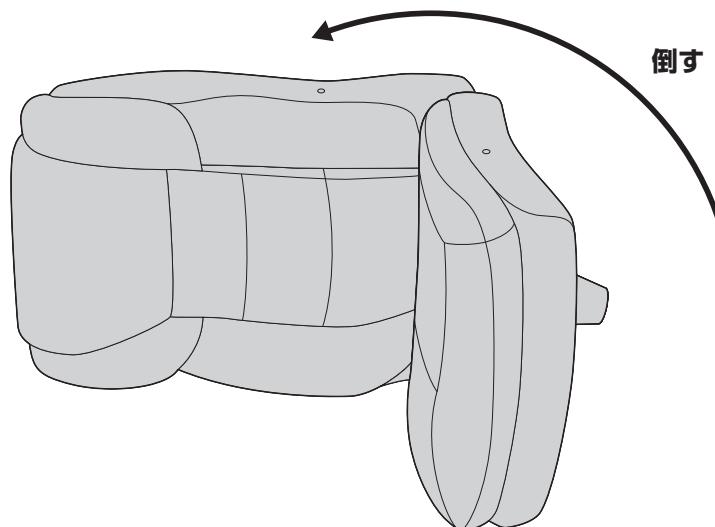
5/16" 25mm
⑬ボルトC(5/16"×25)

手順 9

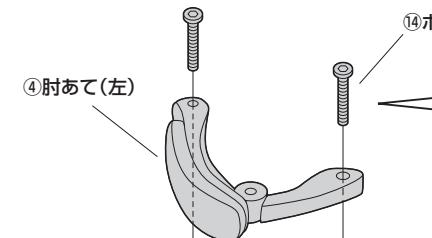


全てのボルト類を締め付けます。

手順 10



手順 11

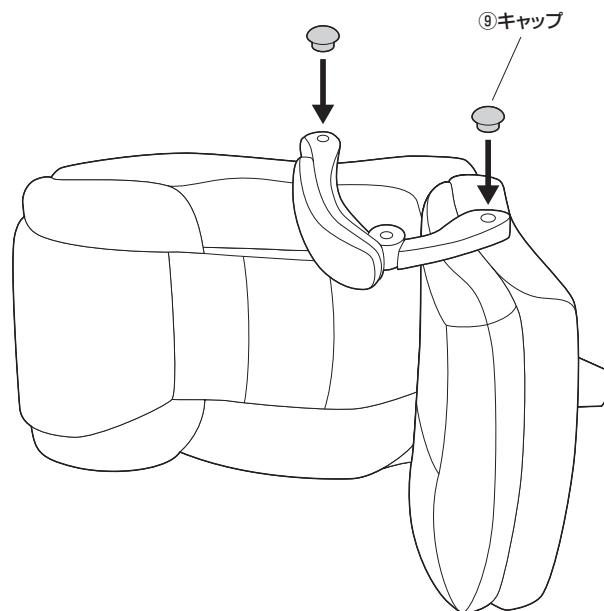


全てのボルト類を締め付けます。

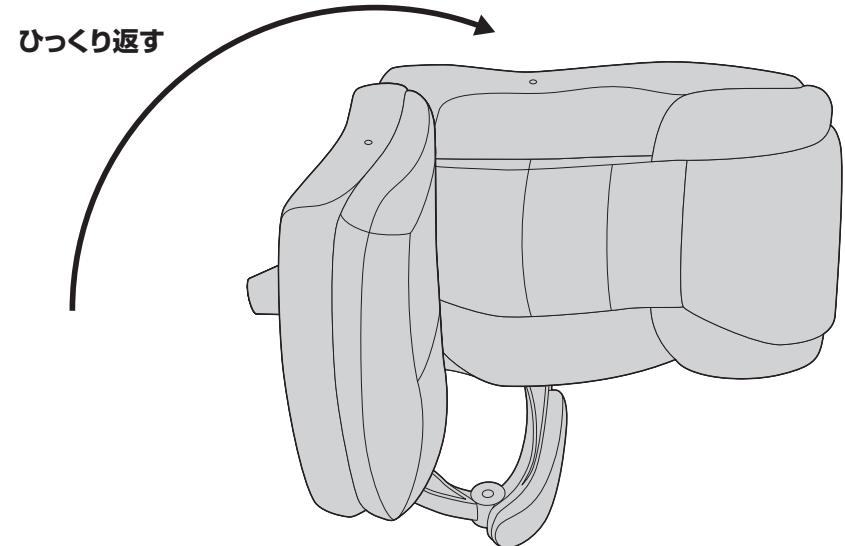
▲注意▲
ボルトはしっかりと最後まで締め込んでください。

5/16" 38mm
⑭ボルトD(5/16"×38)

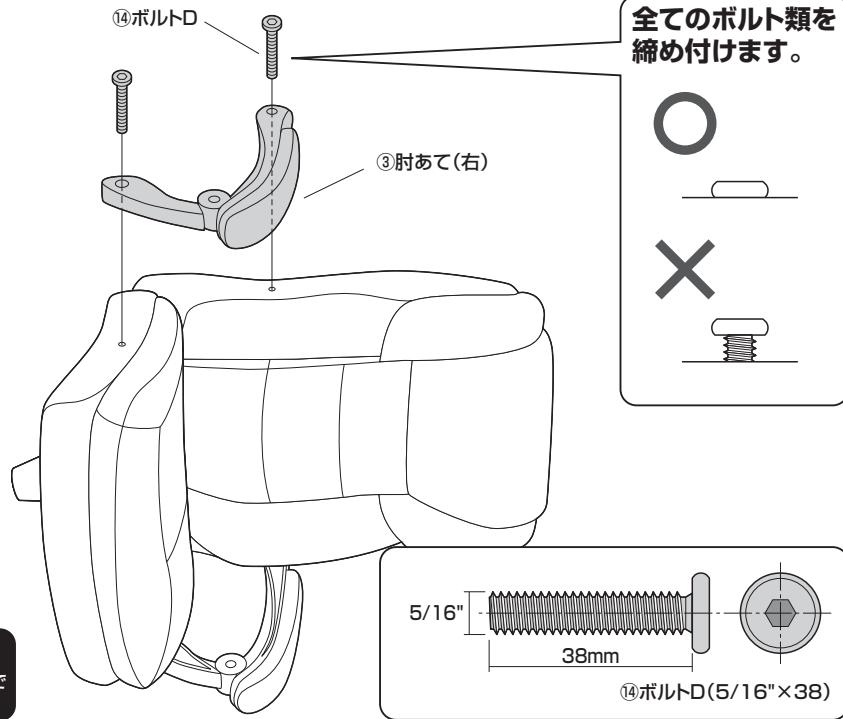
手順 12



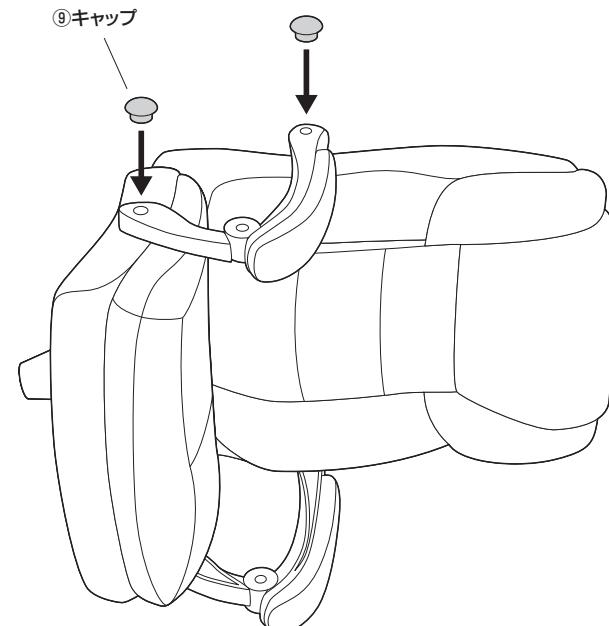
手順 13



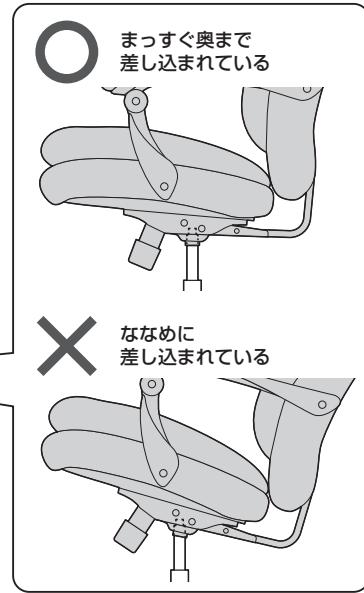
手順 14



手順 15

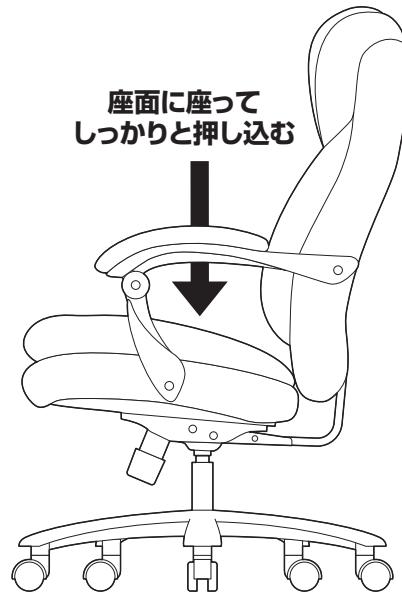


手順 16



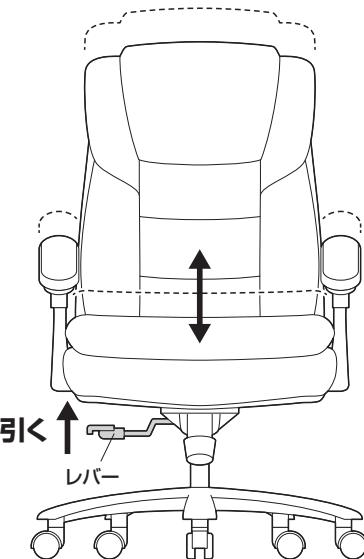
▲注意▲
この作業は必ず大人2人以上で
行ってください。

手順 17



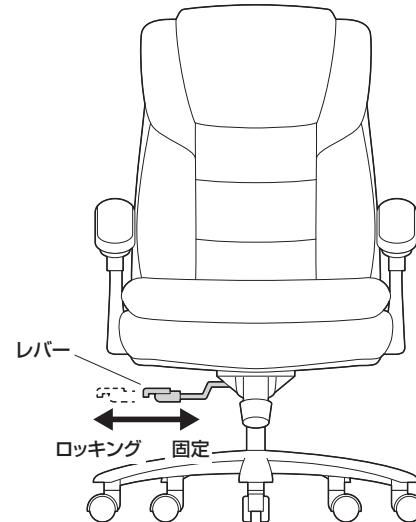
▲注意▲
体重の軽い方は何度も体重をかけて、
確実に押し込んでください。

高さの調節方法

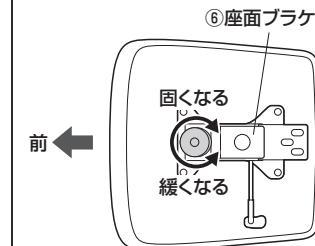


ロッキングの方法

レバーを引き出すと、ロッキングできます。
レバーを差し込むと、3段階で固定できます。



<下から見た図>



下から見て、ツマミを時計回りに回すと
ロッキングが固くなり、反時計回りに回
すと緩くなります。

